



TAISEI
JUNIOR-SENIOR
HIGH SCHOOL

T A I S E I

泰星

泰星学園
同窓会会報

第6号 (2000.6月)

発行元 泰星学園同窓会事務局

〒810-0032 福岡市中央区博国1丁目10-10

TEL (092) 712-7181(代)

FAX (092) 716-5036

印刷 (株)コスモ綜合印刷



目次

- 会長あいさつ
- 校長あいさつ
- 同窓会活動報告
- 泰星紀行
- 寄付状況
- 泰星学園は今・・・
- 事務局より
- 同窓会総会案内

会長挨拶



同窓会会長
松尾 秀夫

今年も三月一日平成十二年五十一期卒業式が厳粛に開催され、キラキラ輝く目を持ったフレッシュユマンが巣立ちました。

即同窓会の要員となり活躍する事を祈りながら卒業式の雰囲気にも浸りました。

その内、梶山校長先生の訓示がありました。が、訓示の中で大変興味をいだいたお話がありましたのでお知らせしたいと思います。

今世紀を振り返ってみると人権意識は高揚し、民主主義も広がって、技術も飛躍的な発展を遂げた。しかし一方では武力紛争の世の中もありました。第二次世界大戦以降も、約百件の武力紛争が生じおびただしい人命が失われています。特に注目すべき問題は民間人の犠牲者の割合が非常に高いことです。軍人と民間人の割合は朝鮮戦争では十五対八十五、ベトナム戦争では五対九十五になり戦争の悲惨さが強く出ました。

又二十世紀は情報化社会が急速に成り立ち、人々は容易に大量の情報を入手できるようになりました。一方では自分の

殻に閉じこもる孤独な人々も身近に増えています。

戦争と孤独の危険性が皆さんが歩み出す世界に渦巻いています。その中で渴き求められるのが平和そして「平和を実現する人」です。平和と和解の人としてこれからです成長して行って下さい。

自分の心に平和の灯火を灯して下さい。これから出会う人々に平和の挨拶をして下さい。この言葉を聞いていて大変感銘いたしました。私達OBにも求められることだと思います。

日本は世界で一番安心して生活の出来る国だといわれてきましたが、昨今殺人事件がふえてきました。特に悲惨なのは親が子を、子が親を殺す事件がしばしば起こるようになったことです。それは我々に「運命を共有する者」としての連帯感が薄れてきたからであろう。「運命を共有する家族の一員」としての自分を強く意識することで失われかけている連帯感を取り戻すことが出来ると五木寛之氏は言っています。

私達としては泰星学園同窓生の連帯感を強めることが「運命」であり使命でもあると思われれます。

どうかこれからも泰星学園並びに同窓会の発展にご協力たまわりますようお願い致します。

校長挨拶



泰星学園校長
梶山 義夫

いのちの
交わり

「おはよう」「おはようございます」朝八時頃校門に立つて生徒たちと挨拶を交わしています。来る生徒、来る生徒に挨拶をしているうちに、自分の中に次第に力が蓄えられてゆくのかを感じます。ミサの中でも、「主は皆さんと共に」「また司祭と共に」という応答を繰り返して、さらに平和の挨拶を交わすなかで、主のいのちをいただいています。日常生活を振り返ってみると、人はさまざまな折りに多種多様な挨拶を幾度となく交わしています。なぜ人はこれほどまでに挨拶をするのでしょうか。

「おはよう」一日は挨拶で始まります。人と人との出会い、いのちのいのちの交わりは挨拶で始まります。それは人が今日も生きていくということ自体が、当たり前前の出来事ではなく、驚嘆すべき神秘だからではないでしょうか。確かにいのちははかなく、明日も生きていくという

保証を誰も持ち得ません。そのような中で、私が今日も生きていることに驚き、あなたもまた今日生きているということに素晴らしさを感じ、しかもそのいのちが目に見えない方に導かれる恵みであることを何か深く感じ取って、互いに喜びの叫びをあげて、「おはよう」と言い、また明日も互いに生きていることを希望して「お休みなさい」と言っているのではないのでしょうか。一日に幾度となく挨拶したり、毎年年賀状を出し続けるのは、いのちが賜物でありいかに尊ぶべきものであるかに何がなし気づいているからに違いありません。また挨拶の際にお辞儀をするのは、相手のいのちに畏敬の念を抱くからでしょうし、あるいは相手のいのちの中に働く「いのちの君」に対して礼拝のところが静かにわき出ているためかもしれません。

同窓会、それは泰星学園の卒業生が互いに尊敬して挨拶を交わす場でしょう。この挨拶の輪がさらに広がってゆくように願っています。また是非来校して下さい、生徒や教職員に励ましの挨拶を送って下されば幸いです。最後になりましたが、現在建築中のクラブハウスの新築などに際して、さらに在校生が安心して学園生活を送るために、学園を物心両面で常日頃から支えて下さっているところにここから感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。

平成十一年度同窓の集いを開く

平成十一年七月十七日(土)午後六時より博多パークホテルにて、本年度担当幹事第三十期、四十期、五十期生の企画、運営によって開催されました。

まず、松尾同窓会会長の挨拶が始まり、『昨年度より実施している、学園整備に伴う募金活動は、初年度の結果は、現時点で約二百五十万円程度しか集まっていますが、我々役員も努力不足もありますが、何とぞ趣旨をご理解賜り引き続きご協力をお願い致します。』と挨拶されました。梶山校長が公務のため少し遅れるとのことで、議長選出、議事となり、議長には大神 誠氏(中六期卒)を選出し、平成十年度、事業報告、決算報告、承認、監査報告、平成十二年度、事業計画、予算計画を満場一致で承認された。最後に梶山校長の挨拶があり『学園の大規模改修工事もお陰様で計画どりに進んでいます。同窓会の方々には引き続きご無理なお願いをしていますが、宜しくお願い致します。』と挨拶された。以上で総会は終り、記念写真懇親会に移った。松尾会長の乾杯の音頭で賑やかに始まった。八尋教頭(十一期卒)より来賓の先生方々の紹介があり、上野先生、和田先生、大堀先生、高山先生、安永先生、それぞれご挨拶をいただいた。会場は若い会員も多く活気溢れた雰囲気にも包まれ、ビンゴゲームもあり、最後に全員肩を組み校歌の大合唱で来年の再開を約して盛会裡に閉会した。

平成十二年度総会は、平成十二年七月八日(土)午後六時より博多パークホテル(当会場)にて開催いたしますので、お誘い合わせの上、多数のご参加をお願い致します。

東京支部総会の御案内

泰星学園同窓会東京支部

泰星学園同窓会東京支部の第四回総会(宴会)を開催致します。毎年楽しく二、三十名の出席で行っております。今年は本部より松尾会長と八尋教頭が出席されます。是非出席をお願い致します。

期日 平成十二年六月二十四日(土)
集合 十七時 「ふくおか会館」

総会 十七時~十九時
会費 社会人 一〇,〇〇〇円
学生会 三,〇〇〇円
十二年新卒の学生 一,〇〇〇円
住所 千代田区麹町一十二
TEL 〇三ー三二六五ー三二七二

※知人で同窓の人をご存じでしたらご連絡下さい
事務局(福岡県人会登録済です)
横浜市中央区長者町五十七五十一

スクエア長者原 三三二二号
オーアイシステム(株)内
TEL 〇四五ー二四三ー〇五二〇
FAX 〇四五ー二四三ー〇六〇三
eメール ois@bccigee.ocn.ne.jp
福岡県人会の各校の東京同総会にも登録して、活動を始めようとしています。

同窓会コンパ



春日原ゴルフ H11.11.9 参加者 8名

優勝	田中(孝)	101 - 26.4 = 74.6
準優勝	田中(文)	95 - 19.2 = 75.8
3位	鈴木	87 - 10.8 = 76.2
4位	木嶋	109 - 32.4 = 76.6
5位	船越	103 - 26.4 = 76.6
6位	富永	114 - 34.8 = 79.2
7位	松尾	110 - 30.0 = 80.0
8位	大串	107 - 24.0 = 83.0

泰星会では秋・年一回開催いたしております。皆様の参加をお待ちしております。

【連絡先】田中文男(第6期) TEL・FAX 092(843)5828

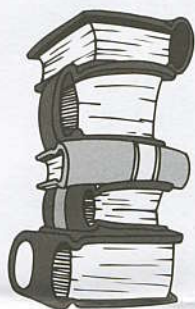


元英語科
大守 克郎

泰星の星に
導かれて

朝の甘味なまじろみの中、近くで小鳥がさえずり、遠くでカッコウが鳴いている。湯布院の町は寒い朝、時折、朝露に包まれ、幽玄の世界の中で時間が止まったかに見える。この静寂の中での心の安らぎは何処から来るのであろうか。何故、私はここに居るのであろうか。

想えば、教育の理想を求めカトリックの泰星学園に奉職したのは、三十年余り前のことであった。だが、己れが微力なるが故に、理想を求めつつも、現実との狭間の中で、志し半ばにして定年を迎え、昨年（一九九九年）退職の止むなきに至った。今では神に、そしてお世話になった人たちに感謝しつつ、静かに余生を送っているが、時折、懐かしさを込めて学園生活を振り返ることがある。色々な思い出が走馬灯のように脳裏を駆け巡る。思い出は星の教程があるが、終生忘れ得ぬものひとつは、指宿とその後の湯布院の、夏の研修であろう。これは当初の目的として、一学



期の期末考査をすべて口頭試問で行うというもので、全校生との十六日間にわたる地獄の指宿研修が、その始まりである。

生徒は知力の限界に挑み、教師は体力の限界に挑戦した。代わる代わる徹夜する生徒たちも居て、夜を徹しての監督・指導は教師にナポレオン並みの睡眠とヘラクレス並みの体力を求めたのである。睡眠不足で眼が真っ赤に血走った私のただならぬ形相に、口頭試問で入室してきた生徒たちの一瞬ギョ！とした様子が、今でも思い出される。その後、研修期間を縮少して湯布院に移し、以後廃止まで長く夏季研修が続くこととなったのである。「生徒に負けてなるものか！」と意気込み、競争して登った由布岳登山も、今では懐かしい思い出となった。

湯布院がつかのすみかとなるかはわからない。だが、この地を選んだのは紛れもない事実である。これは恐らく過酷なるが故に、この研修そのものとそれが行われた湯布院の地を、私がこよなく愛したからに外ならないであろう。物事が過酷であればある程、それを成し遂げた時の充足感と喜びは大きいものである。それは更なる困難にチャレンジする自信と勇気を与えていくものである。こう言うとき、苦しみばかりであったようだが、楽しみもあった。最大の楽しみである食事はさておき、ひとつは就寝前、涼を求めて宿舎の外へ出たとき、高原の夜風が心地良く、一日の疲れを一掃してくれるように感じたことである。清く澄みきった夜空は満天の星を頂き、その輝きは地上のどんな宝石よりも美しいと思った。

退職して一年、湯布院で素朴な野の草花と共に生きてきた。日中は草原を駆け、日が西に傾く頃、湯につかり、湯つたりと、湯婦だけを眺め、いや、間違った、由布岳を眺め、夜は星々とのデートを楽しみ、星に小さな願いと祈りを捧げることになっている。

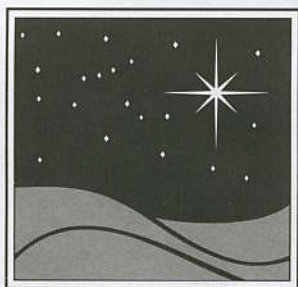
ところで、私たちの銀河にはおよそ二千億個の星があり、このような星雲が宇宙には二千五百億以上あるという。宇

宙の広大さは、まさしく驚異である。地を這いつくばう人間という「知の虫」が遠くない将来、この大宇宙の隅々まで解き明かすのではないかと、思うと痛快極まりない。科学だけでなく、ロマンも欠かせない。ひよっとすると、七夕の牽牛と織女にあやかっつて七月七日に逢瀬を楽しむ、ロマンチックな人間も居るかも知れない。

人間も色々だが、星も様々である。同じ所に留まらず、季節によって見えなくなる星も多い。その中であつて、北極星だけは常に北の夜空で輝きを放ち、人々を導いている。泰星の「泰」は「動じない」の意であるから、泰星とはこの真北の「不動の星」つまり北極星かも知れない。

昭和七年、神学校として大名教会の中で産声をあげて以来、この学園はいばらの道を歩んできた。神の使命を帯びた学園は苦難の道を歩む定めなのであろうか。夜空の星は地上が暗い程輝いて見える。泰星も、世の中が暗黒であればある程輝きを増し、その社会的存在の意義は大きい。泰星は、今後いかなる学園を目指すのであろうか。できれば、卒業生のひとりひとりが泰星の一つの星として、社会のどこかでささやかな明りを灯せるような、そんな学園であつて欲しい。と願いながら、布団をはねて立ち上がった。

窓を開けると、先程までさえずっていた小鳥たちの姿はなく、東の空高く太陽が明るく微笑んでいた。梢を渡る風の音が「お寝坊さん！」と言っているように聞こえた。



御寄付ありがとうございました

～校舎、グラウンドの新築及び改修工事の寄付金～

入金日順、敬称略 (単位・円)

入金日	卒業生氏名	卒業期	入金額
H11. 4. 1	今岡孝之	48	20,000
H11. 4. 1	工藤隆司	50	50,000
H11. 4. 8	山下幸樹	48	30,000
H11. 4.28	宮崎一男	3	30,000
H11. 5. 7	大場優	17	50,000
H11. 5.11	川上晃治	50	10,000
H11. 5.14	富永一幹	39	10,000
H11. 6. 1	中村昭裕	48	10,000
H11. 6. 2	山田員義	中5	10,000
H11. 6.17	大神誠	中6	10,000
H11. 7. 6	藤原友和	48	10,000
H11. 7. 6	山崎善彦	4	10,000
H11. 7. 6	高村努	35	10,000
H11. 7. 6	鳥越徹	33	10,000
H11. 7. 6	別府豪	49	10,000
H11. 7. 7	日名子健司	47	10,000
H11. 7. 7	渡辺明道	3	10,000
H11. 7. 7	川辺董	16	100,000
H11. 7. 8	河邊利典	47	10,000
H11. 7. 8	小野匡彦	49	10,000
H11. 7. 9	中山輝幸	35	10,000
H11. 7. 9	宮崎淳一	43	10,000
H11. 7. 9	神村幸彦	12	10,000
H11. 7. 9	畠山春秋	中9	10,000
H11. 7.12	栢野憲一	28	10,000
H11. 7.12	長柄仁	48	10,000
H11. 7.12	田淵晶也	48	10,000
H11. 7.12	光成研二郎	45	10,000
H11. 7.12	北田功治	44	10,000
H11. 7.12	吉田将博	44	10,000
H11. 7.12	有田憲正	32	10,000
H11. 7.12	槌野磨	42	20,000
H11. 7.13	徳永和佳	48	10,000
H11. 7.13	牧山田一	3	10,000
H11. 7.14	吉田祥一	29	10,000
H11. 7.14	井上政志	50	10,000
H11. 7.14	菰田高頼	39	10,000
H11. 7.15	田村志朗	47	10,000
H11. 7.15	中西英貴	10	10,000
H11. 7.16	諸石量蔵	6	10,000
H11. 7.16	花岡一誠, 拓也	41.43	10,000

入金日	卒業生氏名	卒業期	入金額
H11. 7.16	大隈寛記	34	50,000
H11. 7.19	石橋紀	41	10,000
H11. 7.19	帆足昇	30	10,000
H11. 7.19	藤井俊雄	31	10,000
H11. 7.19	白鳥拓	45	20,000
H11. 7.19	磯野正典	50	30,000
H11. 7.21	比山弘章	48	10,000
H11. 7.21	古賀智治	44	10,000
H11. 7.21	山内雅史	47	20,000
H11. 7.21	末若直司	中6	50,000
H11. 7.22	内藤泰久	45	10,000
H11. 7.22	篠原隆義	中5	10,000
H11. 7.22	梶原収臣, 博臣	43,47	20,000
H11. 7.23	松本弘敏	7	10,000
H11. 7.27	岩木勇人	48	50,000
H11. 7.29	山名健史	48	50,000
H11. 7.30	福岡典昭	45	10,000
H11. 7.30	茂地圭一	50	20,000
H11. 8. 6	井手俊一郎	48	10,000
H11. 8. 9	占部誠一	47	30,000
H11. 8.10	森田知之	49	10,000
H11. 8.13	楠本俊司	32	10,000
H11. 8.18	甲斐啓嗣	45	10,000
H11. 8.19	見城智義	46	20,000
H11. 8.20	村上忠男	7	20,000
H11. 8.24	田井喜久治	36	10,000
H11. 8.24	野入修	31	10,000
H11. 8.25	櫻井尚明	29	10,000
H11. 8.27	後山泰一	46	10,000
H11. 9. 9	山元眞	23	10,000
H11. 9.10	信川祐一郎	33	20,000
H11. 9.10	信川康弘	36	20,000
H11. 9.14	柴田光彦	40	10,000
H11. 9.27	50期生保護者	50	175,147
H11.10. 5	川上晃治	50	10,000
H11.11.15	古澤秀一	49	50,000
H11.12.17	安藤幸滋	49	10,000
H11.12.27	馬場正佳	27	10,000
H11.12.28	若杉朗仁	50	40,000
H12. 1.14	宮崎一郎	42	30,000
H12. 2.18	酒井偉彦	中2	50,000
合計			1,625,147

泰星学園は今

クラブ活動報告

「夢のあと」...

各クラブ戦績



〈高校〉

◎バレー

★新人大会中部地区予選
泰星〇―二・中村三陽
泰星〇―二・城南

◎陸上

★新人大会中部地区予選出場

〈中学〉

◎陸上

◎サッカー

★新人戦市予選リーグ

◎勝四敗三分八位

泰星二―二・東福岡

泰星〇―一八・和白

泰星〇―二・博多

泰星〇―一五・東光

泰星〇―一〇・春吉

泰星〇―一八・友泉

泰星二―一・長尾

◎卓球

★福岡県総合団体中学の部

泰星A三―一・櫛原クラブC

泰星A〇―三・東山A

◎野球

★新人戦区大会

(十月十一日附属中)

泰星二―一八・平尾

泰星〇―一五・警固

泰星二―〇―二・附属

◎剣道

★新人戦福岡市大会予選リーグ

泰星二―一四・博多

泰星二―一二・志岐

県高校中部支部
ハンドボール予選
泰星(男子)V



平成十二年度
県高校中部支部
ハンドボール
予選会(兼第五
十回全九州高
校選手権大会
中部支部予選
会)が四月十六
日、福岡市博多
区のアクション
福岡で行われ、
男子は泰星、女子は筑紫女学園がそれぞれ
優勝した。男子の上位九校と女子の八校が二
十九、三十の両日に大牟田市で開かれる県大
会の出場権を得た。
泰星は決勝戦で、粘る新宮を三〇―一九で
退けた。泰星の遠藤宏昭主将(十七)は、「D
Fが良かったのが勝因です」と笑顔を見せな
がら、「目標はあくまで県大会優勝。技術だ
けでなく集中力も高めていきたい」と、早くも
県大会に気持ちを切り替えていた。
早いパスワークで玄界を三六―一八で下し
た筑紫女学園の和田友主将(十七)は、「うち
は守つて速攻がモットーですけど、今日はDF
が少し悪かった。全国制覇が最終目標なので
まだまだ練習しないとダメですね」と、全
国を目指す力強い抱負を語った。県大会出場
校は次の通り。
【男子】香椎、九産大九産、玄界、早良、新宮
須恵、泰星、太宰府、筑前
【女子】香住丘、玄界、玄洋、西南学園、筑紫女
学園、福岡、福岡女子商、宗像
◎九日の成績
【男子】
泰星二七―一一 筑紫丘
泰星二一―一八 須恵

全国大会再び

泰星学園将棋部

快挙である。まだ記憶に新しい団体戦全国大会出場に続
いて、高二の西田 耕大君が先日小倉高校で行われた新人戦
でも全国大会出場を果たした。前回の団体戦では一回戦突
破を果たした将棋部。今回はそれを上回る成績が期待される。
全国大会は一月十四、十五、十六日に名古屋で行われる。
そこで我々はその西田君にインタビューを行った。

Q 全国大会へ進む今の心境は?

A 自分にとって初めての新人戦優勝なので
(去年は三位)うれしい

Q 何か作戦のようなものを考えていたか?

A 全くなかった。

今回は組み合わせの運に恵まれていて、決勝戦
までライバルに当たらなかったのが勝因だと思う。

Q 前回は団体戦での出場だったが、
今回は一人ということでは不安はないか?

A 少しさびしいが、井上先生と緒だし新幹線
中ですと将棋をしていると思う。

Q 抱負、目標は?

A 個人戦の方が団体戦よりもレベルが高く、どん
までいけるか分からないが、二回目までは残りたい。

井上 成人先生の話

正直この快挙には驚いている。私が驚くほどの数ヶ月
で強くなった。他の部員も、春先くらいまではそう差は
なく拮抗していたのだが、今はもう飛び抜けている。要因
の一つとしては、今回の新人戦で県のチャンピオンという
頂点に立ったことで、自信をつけたことだろう。もう一つ
あげるならば、周りが彼を「チャンピオン」として見るよ
うになったことにある。つまり、周りが彼をチャンピオン
扱いしたことで、彼の自覚が強くなったのである。まさに「地
位が人をつくる」というべきであろう。風格が出てきたな
という感覚が強い。

全国大会団体出場のチームメイトである高三の二人にも、
稽古をつけるようにしているのだが、「自分の方がまだ
強い」といつているながら西田とはやろうとしない。やっぱ
り西田のすごいところは県チャンピオンとして全国の個人
戦に出ていくことだ。四年前四十九期の毛利 航現在東京
大学文科一類在籍が新人戦の個人戦に出たときは県二位と
してだったから、泰星としては初めてのことで。今年度は、
全国の団体戦に出るし、今回の西田の快挙もあるし、まさに
将棋部は最盛期、絶好調!といえるだろう。来年度以降
は心配だが...

泰星ニュース

☆十月二十一日、東ティ
モールのミカ・パレットさん
が泰星の招きで来校され、
生徒たちに東ティモールの
現状をお話しになった。

☆十月二十二日、中学の社
会科見学が行われた。中三
と中二は例年通りそれぞれ
福岡地方裁判所、名護屋城
を見学し、中一は今宿の三
菱半導体工場と水産試験場
を訪れた。

☆十月二十七日、本田尊憲
先生の御尊父が逝去された。

☆十一月七日、中学入試説
明会が行われた。百七〇名
の受験生・保護者の参加が
あり、理科の実験のアトラ
クション、演劇部公演が好
評を博した。

☆十一月八日、母の会の主
催でシスター渡辺和子(ナ
ミユール・ノートルダム修
道女会)の講演・懇親会が
行われた。講演では、母親
としての心構えなどを自分
分の人生や、二・二六事件
で若手将校の凶弾に倒れた
父・渡辺錠太郎の死に照ら
しながらお話しになった。

☆十一月九日、イエズス会
学校四校主催のザビエル作
文コンクールで、中一Dの
グループの作品が優良賞に
選ばれた。

☆第一回代議委員会の決定
を受けて、聖ヨゼフ学園へ
の募金集めが実施された。

恒例 ハーフマラソン大会

— 於 筑後川河川敷 —



平成十二年十一月二十日筑後川河川敷にてマラソン大会が行われた。天候にも恵まれ、ゴールまでの十八・五Kmを中一から高二までの生徒たちが駆け抜けた。高校優勝者の芹川君と中学優勝者の鈴木君に話を聞いた。

マラソン大会の詳細な結果

〔高校〕	
1位 芹川正興(高2C)	1時間13秒25
2位 富田慶一(高2D)	1時間16分41
3位 広瀬道宣(高2D)	1時間16分47
〔中学〕	
1位 鈴木浩晃(中3D)	1時間20分53
2位 石井太郎(中2B)	1時間21分35
3位 豊原貴之(中2B)	1時間22分10

直撃インタビュー

Q1 優勝した感想を聞かせてください。

●部活での日々の努力が実を結んだという感じでうれしい。(芹川)
●去年より少しタイムが落ちたが、とにかくうれしい。来年は順位よりもタイムを気にして走りたい。(鈴木)

Q2 なぜ優勝できたとおもいますか？

●最初から狙っていたということもあるが、やはり家族、友人、彼女からの励ましのおかげ。(芹川)

●特にトレーニングなどをしていただけではないので、なぜ一位になれたかは自分でも分からない。(鈴木)

Q3 走っているとき何を考えていましたか？

●けがをしている人がいるかも、とか一位でゴールする自分、走り終えてアートをしている自分とか想像しながら走っていた。(芹川)
●はつきり言っても何も考えていなかった。ただ、早く終わってほしいと思って走っていた。(鈴木)

Q4 後ろの人は気になりましたか？

●初めから少し速いペースで走っていたが、後ろとの差が全く離れなかったので少し気になった。そして残り二キロ弱のところ、佐藤先生から「近づいてくるぞー」と言われた時はかなりあせった。(鈴木)

Q5 後輩へのメッセージをお願いします。

●やはり一位になるためには、なによりも友人や彼女などの心の支えとなってくれる人が必要です。(芹川)

《新任の先生紹介》



社会科 浦善孝先生

春から泰星に赴任して、生徒のみなさんの成長を殊に実感してきました。もう初めのころの授業の方法、試験の形式、日頃の接し方は古くなってしまいました。みなさんの成長を思うに、私はどれほど成長したのだろうかと自問します。「きれいに掃除しない」「誠実に勉強しない」「休まず、遅刻せず」。ついつい子どもの教育ということに一生懸命になってしましますが、私の成長はどうなのでしょう。私はこの学校で働きながら歳をとってゆきます。願わくは、この働きの中で成長して往きたいと思えます。私が高校生だった頃、友人仲間で行っていた某通信講座を受講していました。返信はもちろん滞りがちでしたが、月に数度送られてくる『旬報』



体育科 光成研二郎先生

高三・高二・中二の体育を受け持っております光成研二郎です。よろしくお願ひします。私はこの泰星中・高等学校に赴任してから、「生徒たちに、教科はもちろんのこと、他に何が教えられるのだろうか、何を伝えられるのだろうか。」と考えてきました。そして、考えた結果、「二つの事を生徒たちに伝えていこうと決心しました。それは、「礼儀」と「けじめ」です。

まず「礼儀」について。学校生活の中での先生方と生徒との会話が、時々、友達感覚になっているように見受けられます。生徒が先生に頼み事をしているときも、まるで友達に頼んでいるかのような言葉づかいです。私が生徒達とコミュニケーションを図ろうと心掛けている事もあり、私も年若いだけにそういう

という冊子は楽しみでした。同じ年頃の高校生が自分の好きな言葉だといって、次の言葉を紹介していました。「凡そ小人の常 大なることを欲して 小なることを怠り 出来難きを憂いて 出来易きを勤めず 夫故 終わりに大なることをなすに能はず」。この言葉を、私はいまだに思い出します。人生の半ばを歩んでいる私にとっても、人生を歩みはじめたみなさんにとっても、この言葉は何か教えてくれると思います。決して急ぎ足でなくともいいのだと思います。

三十六歳になって新任紹介を書くことになりました。担当している地理は私が一番好きな教科です。倫理は専門に勉強した教科です。聖書研究は、神父の本領が発揮できるところだと思っています。みなさんが健やかに成長できることをお祈りします。私もこの歩みが続けられるように、がんばりたいと思います。

た生徒たちの言葉づかいは特に目に付きます。次に、「けじめ」について。始業のチャイムが鳴り終わっているのに平気な顔をして授業に遅れて来る生徒がまれにいます。先生に失礼であると同時に、しっかりと時間を守ってきている他の生徒の時間を浪費していることにもなります。

たまたま、ここに二つの例を挙げましたけれども、大学生、社会人と成長していくにあたってこれら二つの事は、いうまでもなく非常に大切な事となってきます。ですから学校という日常生活の中で、常に「何が礼儀か?」「何がけじめか?」という事を考えて行動してほしいと思います。それが、泰星の中でももちろんのこと、泰星の外に出たときに役に立つのです。生徒のみなさんは私の後輩でもありません。ですから私も君たちを弟のように思っています。その生徒たちに十二分な指導ができるように、そして、生徒たちと緊密なコミュニケーションを取りながら私の伝えたいことを伝えていけるように、私の方も努力していきたいと思っています。

これは、我が校の姉妹校のある聖ヨゼフ学園に対し、文房具などを援助しようというもの。十一月十七日に高校、十八日に中学で回収され計十七万九千九百四十六円が集まった。しかし、目標額に達しなかったということで生徒会では二度目の回収を企画し、二回目をあわせると額は一九万百十三円となった。イエズス会修道院から残りを援助し、二十万円ちょうどにして現地に送った。

☆先日聖ヨゼフ学園と文通している生徒の手紙が塩谷先生に託された。さらなる文通希望者を募集中のこと。

☆十二月初め、東ティモールの聖ヨゼフ学園のアグン・マルワタ校長から、梶山校長宛に募金の礼状が届いた。手紙では、二十万円という多額の寄付に対する謝意に加え、東ティモールの人々そしてイエズス会員の味わっている理不尽な扱いに対して、大きな怒りをもっていることを直接的に表現なさっている。

☆十二月三日、上智大学の北原隆神父による生命倫理講演が高一・高二、そして教員を対象に行われた。

☆大学への推薦入試が行われ、泰星の指定校推薦による合格者は上智・早稲田など計五名。

平成11年度同窓会会費納入状況

終身会費

(敬称略)

高5 渡 辺 網太郎	高30 井 上 忠 光	高34 大 隈 寛 記	高49 安 藤 幸 滋
高16 川 辺 董	高32 久 米 典 彦	高47 河 邊 利 典	高49 村 方 健 治
高30 山 田 秀 二	高33 鳥 越 徹	高48 中 村 昭 裕	高50 相 良 泰 生

年会費

旧中7 久 保 守	高7 峯 興 一 郎	高29 明 石 圭 郎	高33 信 川 裕 一 郎	高41 花 岡 一 誠	高46 中 淳 治	高49 小 野 匡 彦
旧中7 山 田 成 章	高9 瓜 生 叶	高29 櫻 井 尚 明	高33 新 島 三 行	高41 斎 藤 利 久	高46 陶 山 忠 義	高49 松 岡 賢
新中2 酒 井 偉 彦	高10 岩 本 登	高30 永 松 陽 一	高33 島 塚 裕 明	高42 永 島 藤 吾	高46 北 村 浩 之	高49 上 野 裕 介
新中2 増 崎 三 則	高10 市 川 公 夫	高30 岡 崎 朗	高33 島 塚 裕 明	高42 草 場 暁 登	高47 下 村 京 平	高49 大 城 雅 史
新中5 篠 原 隆 義	高10 中 西 英 貴	高30 江 藤 俊 治	高33 矢 野 秀 輝	高42 中 村 正 文	高47 梶 原 博 臣	高49 大 塚 健 太 郎
新中6 大 神 誠	高10 中 島 幸 男	高30 荒 川 健 次	高34 奥 元 浩 史	高42 槌 野 磨	高47 山 内 雅 史	高49 田 中 隆 嗣
新中9 富 山 春 秋	高10 柳 原 秀 樹	高30 高 松 隆 史	高34 花 田 政 義	高42 樋 口 学	高47 占 部 誠 一	高49 別 府 豪
高3 高 木 満	高11 伊 藤 賢 治	高30 深 川 裕 之	高34 岩 本 司	高42 樋 口 崇	高47 田 村 志 朗	高50 磯 野 正 典
高3 牧 山 田 一	高11 島 田 征 児	高30 村 上 勤	高34 吉 次 正 利	高42 野 口 拓 也	高47 日 名 子 健 司	高50 王 丸 泰 成
高3 宮 崎 一 男	高11 八 尋 良 久	高30 筑 摩 真 一 郎	高34 近 江 団	高43 梶 原 収 臣	高48 安 藤 功 蔵	高50 加 来 典 誉
高3 宮 崎 一 雄	高12 神 村 幸 彦	高30 長 野 祥 生	高34 中 西 勇 一	高43 宮 崎 淳 一	高48 井 手 俊 一 郎	高50 蒲 池 和 明
高3 森 邦 蔵	高17 音 藤 憲 彦	高30 德 永 浩 昭	高35 高 村 努	高43 大 森 隆 生	高48 原 田 豪	高50 三 代 達 也
高3 山 崎 善 彦	高17 大 場 優	高30 畑 島 敦	高36 岡 亮	高44 岡 本 卓 也	高48 工 藤 康 晴	高50 三 澤 尚 久
高3 渡 辺 明 道	高18 宮 野 雄 二	高30 帆 足 昇	高36 松 尾 真 之	高44 吉 田 将 博	高48 今 岡 孝 之	高50 山 田 啓 介
高4 加 藤 啓 祐	高20 遠 藤 信 廣	高30 本 山 秀 敏	高36 信 川 康 弘	高44 古 賀 智 治	高48 山 下 幸 樹	高50 山 本 剛 史
高4 富 塚 恭 順	高20 古 川 徳 治	高30 友 添 建 二	高36 田 井 喜 久 治	高45 光 成 研 二 郎	高48 小 山 良 浩	高50 松 尾 剛
高4 山 田 哲 士	高20 荒 木 敏 彦	高31 原 康 一	高37 河 干 田 伸 一	高45 山 本 徹	高48 神 田 哲 郎	高50 松 尾 寛 之
高5 上 杉 鷹 雄	高21 上 原 勉	高31 後 藤 純 信	高37 吉 田 典 弘	高45 内 藤 泰 久	高48 長 柄 仁	高50 鐘 川 浩 史 郎
高6 山 下 謙 二	高23 高 木 昇	高31 中 津 武 士	高37 後 藤 敏 孝	高45 白 木 亮	高48 徳 永 和 佳	高50 真 鍋 将 一
高6 諸 石 量 蔵	高23 川 村 浩 之	高31 藤 井 俊 雄	高37 星 野 俊 幸	高45 福 岡 亀 馬	高48 浜 田 芳 蔵	高50 中 村 光 紀
高6 松 尾 秀 夫	高24 新 居 淳 一	高31 野 入 修	高37 村 上 修 一	高46 井 尾 智 範	高48 木 下 実	高50 服 部 洋 輔
高6 森 浄	高25 斎 藤 純	高32 岩 本 仁	高37 野 瀬 武 也	高46 岡 究	高49 井 上 寛 文	高50 茂 地 圭 一
高6 田 中 文 男	高25 納 富 浩	高32 中 島 誠 司	高38 井 口 慶 一 郎	高46 柿 原 信 幸	高49 園 下 憲 一 郎	高50 木 村 督
高6 末 若 直 司	高28 永 岡 浩 一	高32 楠 本 俊 司	高39 加 藤 剛	高46 見 城 智 義	高49 吉 武 伸 章	高50 和 佐 野 研 二 郎
高7 一 瀬 幹 彦	高29 吉 田 祥 一	高32 有 田 憲 正	高40 安 田 勢 次 郎	高46 後 山 泰 一	高49 桑 田 祐 輔	
高7 松 本 弘 敏	高29 大 石 英 雄	高33 吉 松 謙 吉	高40 朽 網 信 友	高46 坂 圭 矢	高49 溝 田 真 人	
高7 大 串 安 弘	高29 中 村 亨	高33 栗 栖 慎 治	高40 柴 田 光 彦	高46 市 来 敏 光	高49 山 野 将 由	

同窓会年会費納入のお願い

創立以来、卒業生も約7,000名となりました。今まで年会費の納入は毎年の卒業生と同窓会総会の出席者(年100名前後)が納める会費でのみ運営されてまいりました。これからも「卒業生一人々の責任ある力でさらなる発展」を目標に日々邁進していきたいと思っています。会員各位の暖かいご理解とご支援をお願いいたします。

泰星学園同窓会長 松尾 秀夫

・終身会費 50,000円 ・年会費 3,000円

尚、終身会費納入の方には会員証(50度数テレカ)を進呈いたします。

※同窓会総会に出席出来ない方は、同封の振込み用紙にて振込みをお願いします。

◆平成12年度 泰星学園同窓会総会のお知らせ◆

- 日 時 7月8日(土) 6時(総会) 7時(懇親会)
- 場 所 博多パークホテル 博多駅博多駅前4-11-18 電話 451-1151
- 会 費 6,000円(年会費3,000円含) 学生3,000円(年会費含む)

主幹世話人(31期生)吉竹・横山・原・藤井(41期生)野邑・造酒・磯貝(51期生)安達

副幹世話人 32期生・42期生

〈追伸〉なお、連絡不行き届きの同窓生の方もおられると思いますので、1人でも多くの方をお誘い頂きたく存じます。